



お慶びを申し上げます  
謹んで初春の



2023年



明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり有り難うございました。

どうか本年もよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様、今年のお正月は如何お過ごしになりましたか？ コロナ禍とはいえ昨年とは少し違った新年を迎えられたのではないのでしょうか。

まだまだ終息の見通しは立たないようですが、いろいろな制約が徐々に緩和されてきており、経済活動ももとに戻りつつあるように思います。

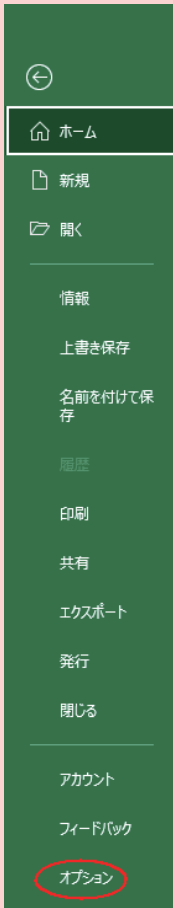
今年こそ怯えることなく過ごせる一年でありますことを願っております。

どうか本年もご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 米田 明

## Excel ワンポイントテクニック

【Excel の Enter 押下時のカーソル移動方向】



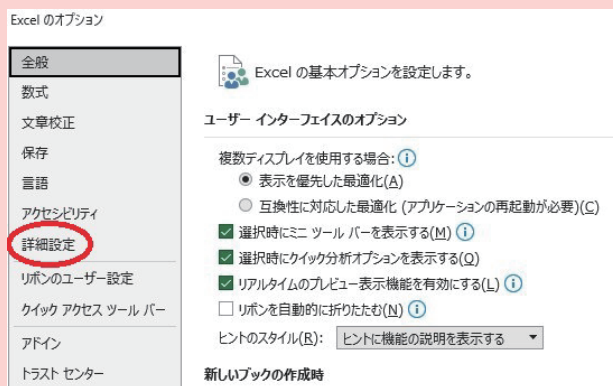
(図 1)

Excel で作業している際、下ではなく右に右に入力していきたい場面はありませんか？『Tab』で右に移動させることも可能ですが、どうしても癖で『Enter』を押しちゃって「ああ…下行った…」となること、個人的にはたまにあります。癖って怖いですね。そんな時に使うのが今回ご紹介する方法です。

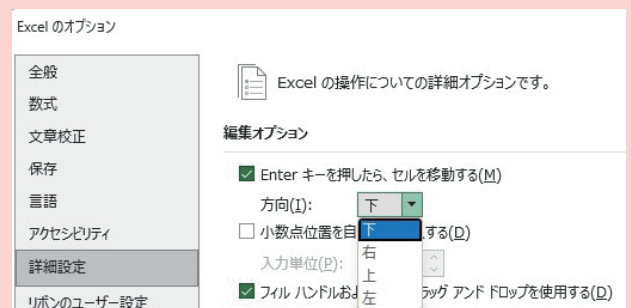
Excel を開き → ①「ファイル」→ ②下部の「オプション」(図 1) をクリックします。「オプション」が出てこないときは「その他」をクリックして右に出てくるタグから「オプション」を選んでください。

開いたオプションメニューの中から③「詳細設定」(図 2) をクリックし、④「編集オプション」(図 3) の中から「Enter キーを押したらセルを移動する」の方向を押すと、Enter で送る方向を上下左右から選べるようになります。

ひたすら右に入力していく作業の際、これで設定しておけば癖で下に移動することもなく、ダーッ！と入力することが出来ます。ぜひお試しあれ！ (シロ)



(図 2)



(図 3)

# 読者 訪問



第156回

お伺いした会社 株式会社ゑり善  
お話を伺った方 代表取締役社長 亀井 彬 様  
会社の所在地 〒600-8002  
京都市下京区四條河原町御旅町 49  
電話番号 TEL 075-221-1618  
事業内容 呉服専門店



<https://www.erizen.co.jp/>

400年あまりの歴史を誇る京都の老舗呉服店『ゑり善』さんの亀井社長をお訪ねしました。颯爽と登場された亀井社長はシックな着物姿で、さすが京都を代表する老舗呉服店の社長だと感服いたしました。

冒頭、亀井社長に何代目ですかとお聞きしたら、明確にはお答えできないとおっしゃいました。屋号は半襟の「ゑり」と創業者の山崎善助の「善」に由来しています。明治時代に山崎家から亀井家が事業を引き継ぎ、以来5代に渡って商いを続けていますが、幾度も起きた天災などで残念ながら当時の様子が書かれた資料は少ないようです。

着物に対する価値観の変化や、担い手の高齢化による生産量の減少など、業界の規模が縮小し、厳しい状況の和装業界にあって、「ほんまもん」の魅力を発信していくことにこだわっておられます。特に対面販売へのこだわりは強く、専門店として、呉服に特化した販売員がこれだけ揃っている店は全国的にも少ないだろうとおっしゃっていました。直接お客様とお会いしてお着物を囲ってお話をするからこそ、いろいろな活きた情報があつまり、お客様のお好みや志向を知ることができる。そしてその貴重な情報をお客様や業界に還元できると。



ショールーム

『娘の結婚式が〇〇ホテルの〇〇の間であります』と聞けば、「あその間でしたら絨毯は〇色、シャンデリアは〇〇風。ナニナニは……。でしたらこの色でこの柄がお似合いになります」というようなお客様のお好みに加えて、シチュエーションに合わせた提案ができる、そんな想像力豊かで、お客様に寄り添った店になりたいとおっしゃっていました。

たけびし(株)さんからのご紹介で昨年『ごぶく☺』を導入させていただきました。

東京と名古屋、それに京都四條河原町の本店をVPNで結びお使いいただいております。現在は本稼働し、重宝してお使いいただいております。そしてサポートのサポートを「粘り強く私たちの想いに寄り添ってくれる」とお褒めの言葉もいただきました。導入に際しては何社かのシステムを検討されたようですが、いろいろと機能がありすぎて複雑なシステムより、『ごぶく☺』のシンプルに整理された機能の方が馴染みやすく、使いやすいということでお決めいただきました。

韓国のテレビディレクターが日本の町の中で民族衣装である着物を着て歩いている人の多さに驚いていたそうです。韓国では民族衣装のチマチョゴリを着て歩いている人はほとんど見かけないとのこと。この素晴らしい民族衣装である“きもの”をこれからももっともっと大切に、お客様に寄り添って日本文化の発展と継承に邁進されることを祈念いたしております。(米田)



亀井社長



## “一丁嚙”が行く!

いっちょかみ

第167回:Q-info創刊15周年

このQ-infoは2008年1月にITに関する情報やトピックスをお届けすることを目的に創刊し、昨年12月でちょうどまる15年を迎え、今年から16年目に入りました。

この「一丁嚙」が行く!というコーナーは第2号からはじまり、新年号などで休みの時がありましたが、現在まで166回連載してきております。また、発刊2年後の2010年2月号から「読者訪問」のコーナーが始まりました。現在まで150社にお伺いして業務内容やサポートとの関係などをご紹介させていただきました。(2回以上訪問掲載した会社様が30社あります)

そして2009年4月からは本誌に書ききれない情報や、サポートからの告知や宣伝を主体にした1枚もののチラシをプリンターで印字して添付するようになりました。

この添付チラシは2020年2月から『Sysport announce』と銘打って、それまでのプリンター印字から本誌と同じオフセット印刷のものになりました。そして昨年11月から両面印刷にしてより多くの情報をお届けすることにいたしました。そしてさらに、読者の皆様から広告原稿や告知情報をいただき掲載していこうと思っています。Q-info本誌とは少し違った切り口で、読者の皆様との情報交流の媒体となればいいかと思っています。

毎月発行ということでそれなりに手間はかかるのですが、お目にかかった方から「その話、この間の機関誌に書いてありましたよね」などと言っていたことも少なくなく、誌面作りの励みになっています。

これからもまだまだ頑張ってお誌面作りをしてまいります。少しでもお役に立てる情報の提供に努めたいと思っております。そしてまた、皆様方からも取扱い商品やサービスなどの情報をご提供いただきPRさせていただくことを通じて、一緒に誌面作りができますことを願っております。

どうかこれからもご愛読下さいますようお願いいたします。

(一丁嚙)

### 編集後記

年賀状をやめるとか、紙ではなくメールにする、というような案内が数件届きました。環境への配慮からかも知れませんが、日本の文化としての年賀状をなくしてしまうというのには少々抵抗を感じないではありません。普段ほとんど交流のない人からいただく年賀状をみて、元気になさっているのだと安堵するのは私だけではないと思うのですが。